

平成 29 年度

学 校 評 価

< 記入上の留意点 >

評価 は教職員、評価 は校園長、評価 ・評価 は学校関係者評価委員の評価を記入する。

評価 は小数第一位まで記入する。評価 は4段階を基本とするが、0.5刻みまでを許容とする。
評価 はA B C Dで記入する。

学校の実態に応じて評価内容を追加して設定することができる。

評価、評価 の基準

4	十分達成できた
3	達成できた
2	取り組んでいるが、成果は十分でない
1	取組が不十分である

評価 の基準

4	よく取り組んでおり、成果が大きい
3	熱心に取り組んでおり、今後が期待できる
2	取り組んでいるが、成果は十分でない
1	取組が不十分である

評価 の基準

A	優れている
B	適切である
C	おおむね適切である
D	要改善

尼 崎 市 立 小 田 北 中 学 校

平成29年度 学校評価

[各校の重点取組について]

本校の教育目標は、『一人ひとりを大切に生きぬく力を育む』と設定している。

具体的な取り組みは、(1)自分と他人を大切に作る豊かな心を育てる。(2)共に学び、高め合い、確かな学力を身につけさせる。

(3)良い生活習慣を身につけさせ、心身共に健康な生徒を育てる。(4)家庭・地域から信頼を得て『共育』を行う。

学校教育に関する重点取組

1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力を身につけさせる		評価 (教職員)	評価 (校園長)
(1) 授業改善の取組を促進するとともに家庭との連携により、学力向上を推進する (2) 特別支援教育の取組を充実させ、自立や社会参加に向けた主体性を育成する		3.2	3
取組とその成果	課題と改善策		
・年度当初に年間授業時数を明示し計画に余裕を持ち進めることができた。 ・校内で2回公開・研究授業(後2回)を実施し、講師も招聘し授業改善に努めた。また、普段の授業参観でのアドバイスや授業改善アドバイス等々を積極的に利用し授業研究が進んだ。 ・校内研究授業等でアクティブな授業を積極的に行っている。 ・水放課後、土、テスト前チャレンジ、月曜日放課後EFSクラブでコンピューター室でのe-ライブラリを使った自主学習とテスト前各クラス・各教科の補習のを実施した。 ・家庭での学習時間増加に向けて、毎週週末課題(木・金・土・日)を与え点検等の指導強化を図った。 ・数学、英語で少人数指導やTT授業により、生徒が存在感、充実感のある授業実践を心がけた。英語の小中連携の道筋を作り、每学期1回と随時の会議を行い、出前授業でも小中の先生と一緒に授業の実施ができた。 ・特別支援委員会やケース会議で情報交換等を行い、職員会議等で全教職員の共通理解を図っているため生徒理解が進んだ。管理職・コーディネーター・支援員・生徒支援の情報交換を密にし、効率的に支援に当たれるようにした。 ・小中で道徳や教科授業の相互参観、出前授業や夏季合同職員研修、小6児童の文化発表会の参観(部活動体験は3学期)を行い中学校理解が進んだ。	・より一層計画性のある授業を行えるよう年間予定授業時数を提示する。 ・今後も公開研究授業計画を立て、講師招聘を行い授業改善に努める。 ・研究推進委員会で、学力向上の取り組み等検討させ会の充実を図る。 ・週末課題の取り組みをより充実させるため課題提供の検討に入る。 ・数学英語の新学習の取り組みを生徒の実態に合わせて取り組む。 ・英語科の小中連携会議を増やして今後も連携を深めていく。 ・支援に必要な生徒が多くいるため、コーディネーター・支援員・児童生徒支援との打ち合わせ回数を増やす。 ・特別支援委員会を職員会議で実施し、全教員で支援できる体制を作る。 ・今後も小学校への授業参加を頻繁に実施する。 ・小学校の教員が中学校への訪問できる様に検討する。 ・各教科での補習を今年度実施したように次年度も続ける。 ・授業中に指導できなかったことを放課後補習等で教科担任が学年教		
2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る		評価 (教職員)	評価 (校園長)
(1) 道徳性育成の取組を促進し、思いやりに満ちた人間関係及び社会とのかかわりづくりに努める (2) 基本的な生活習慣確立の取組を促進し、心身共に健全な育成を図る (3) キャリア教育の取組を促進し、社会的自立に必要な能力を育成する		3.5	3.5
取組とその成果	課題と改善策		
・年間35回の計画意に従い道徳授業の実施と普段の指導の中で心の教育を進めていく。1月に道徳の公開授業を予定している。 ・普段の生徒とのふれあいに加え、年2回の教育相談を計画的に行い問題行動等の未然防止に役立っている。 ・生徒指導委員会、不登校委員会等の会議の統合を行うことにより生徒と関わる時間を増やす。又、情報を電子化して共通理解を図る。 ・長期、7日連続欠席者については、不登校担当・SC・訪問指導員・はつらつ学級との連携をいっそう深める。不登校気味の生徒保護者の管理職面談を行い改善に努めている。多くの生徒が改善されてきている。 ・キャリア教育の年間計画を作成するとともに「進路ノート」の活用などを計画的に行う。	・年間35時間の道徳授業を計画的に実施する。 ・今年度同様道徳の若手中堅研修を実施する。 ・年間2回に教育相談の充実を図り、学年教員での情報共有を行う。 ・生徒指導不登校委員会の会議録を電子化し、全教員で共有できるようにする。 ・長期欠席者の保護者との連携をもっと密に行う。 ・SC、訪問指導、教育相談、はつらつ学級との連携を継続していく。 ・長期欠席になる前に管理職面談を検討する。 ・キャリア教育の年間計画に従い今後も進める。 ・病院での診察を受けている生徒に関して早めの連携を進める。		

3 食育や体育を充実させ、健康な体づくりに取り組む		評価 (教職員)	評価 (校園長)
		(1) 食育を通して生活改善の取組を促進し、望ましい生活習慣を育成する (2) 体育・スポーツ活動の取組を促進し、体力・運動能力の向上を図る	3.5
取組とその成果	課題と改善策		
<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度より実施している食育全体計画、市の施策等を提示し説明することにより、職員の理解度は深まった。2年生の授業で食育授業を実施させる予定(11月中)である。 ・食育への関心を持たすため、家庭科での食育授業に授業に空いている教員を参観させ、教員の意識も高まった。 ・弁当事業実施について、教職員の共通理解を図る。又、給食実施に向けての情報を公開して教員の意識付けを図った。 ・教科体育の充実と体育的行事を全教員で取り組み、協力態勢が取れてきた。 ・スポーツテスト結果を生徒にカード等で還元し活用し、生徒の向上意識が強くなった。 ・部活動大会前の壮行会や報告会により部活動をより一層活性化させたため所属感が増した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育の授業を継続し、食の大切さについて意識の醸成を図る。 ・中学校弁当の利用を促進し、保護者試食会を継続していく。 ・給食実施計画の情報を職員に伝えその準備の意識を持たせる。 ・教科体育の充実、体育的行事を全教員で取り組む意識を持たす。 ・スポーツテスト等の記録を校内に掲示することで、向上意識を持たす。 ・スポーツテスト結果を個人に返すことで、向上意識をつける。 ・部活動でのお互い刺激を持たすため報告会を実施する。 ・大会前に壮行会を実施し、中学校の代表としての意識を高めさせる。 		

4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る		評価 (教職員)	評価 (校園長)
		(1) 安全教育の取組を促進し、登下校及び学校園内の安全確保を図る (2) 防災教育の取組を促進し、危機管理能力の向上を図る	3.3
取組とその成果	課題と改善策		
<ul style="list-style-type: none"> ・登校指導の範囲を広げることにより、生徒の登校時の安全が少しずつは確保されている。 ・月末の安全点検実施により、危険箇所の把握を確実に行うため事故はほとんど無い。 ・校舎内を整理整頓する意識させることで、学校施設を大切に使用する意識が高まった ・朝礼や集会、学活での安全指導を行うので生徒が理解し易い。 ・年2回の防災訓練実施の際、事前事後指導を充実することや関係機関との連携を深める。(1月に2回目を実施予定) 	<ul style="list-style-type: none"> ・登校下校指導を今後も続け、生徒の安全確保を行う。 ・毎月の安全点検の実施により危険箇所の把握に努める。 ・校内外美化の意識を持たせ、定期的に美化委員清掃活動をさせる。 ・学年別の学校周りの地域清掃を1回は実施する。 ・朝礼や集会、学活で安全指導を行う。 ・年間2回の防災訓練の充実を図る。避難経路を遮断するなど。 		

5 家庭・地域・学校の連携を深め、信頼され、活力に満ちた学校園づくりに取り組む		評価 (教職員)	評価 (校園長)
		(1) 教職員の資質向上の取組を促進し、学校の組織力及び教育水準の向上を図る (2) 地域の教育力を活用した取組を促進し、地域とともにある学校づくりを推進する	3.5
取組とその成果	課題と改善策		
<ul style="list-style-type: none"> ・研究推進委での研修・学力向上等計画を立案することで意識が高まった。 ・スズキ校務を使用し、パソコン内でのデータ管理をして職員で共有することで一層業務改善を進めている。 ・教育雑誌や教育施策に関する情報【データや書類】等を職員会議時等で職員に通知することで改革意識を高める事が出来てきた。 ・若手教員の校内研修計画を実施することで若手の意識が高まり、ミドルリーダーの成長にも繋がった。 ・個別面談を年間2回以上行うことで意識改革を少しずつではあるが、図れてきている。 ・教育活動の公開や学級、学年、学校の発行、ホームページ更新、PTAメール配信を更に活発にしたのでより保護者・地域との連携が出来た。 ・管理職が地域行事に数多く参加しているため、連携や協力体制は取れてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究推進会議においての検討内容をより具体的なものにする。 ・行事ごと、スズキ校務を利用しアンケートを作り、改善に役立てる。 ・教育施策等の情報を職員会議等でデータで示し、改革意識を高める。 ・若手中堅教員の研修を今後も継続させ、指導力向上を目指す。 ・個人面談を今後も2回以上実施し、学校の方向性を示しながらも各教員の思いを聞き、改善に努める。 ・教育活動の公開をホームページ等で今後も続け、保護者地域との連携を図る。 ・地域行事の管理職以外の教員生徒の参加を増やしていく。 		

教育目標		評価 (教職員)	評価 (校園長)
			3.3
(1) 教育目標の達成に向けた充実した教育活動の展開 (2) 教育目標の具現化と指導の充実			
取組とその成果		課題と改善策	
<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼等の機会や校内の掲示板を利用して、職員や生徒に具体的目標の意識付けを図る。 ・学校、学年たよりや保護者会など機会あるごとに教育目標、目指す生徒像を示し、生徒保護者の理解が少しずつ広がってきた。 ・指導の充実には、振り返りと改善が必要である。常に、指導後の改善策を考慮するように啓発する。行事ごとの反省を基に次年度計画までの対応を進める意識が出てきた。 		<ul style="list-style-type: none"> ・始業式や朝礼等の機会や校内の掲示板を利用し、意識付けをさせる。 ・学校だよりや学年便り、進路説明会、PTA総会、PTA役員会で広報していく。 ・学校評価アンケートや行事ごとのアンケートで、達成確認をしていく。 	

研究テーマ		評価 (教職員)	評価 (校園長)
			3.1
(1) 研究テーマの達成に向けた充実した教育活動の展開 (2) 研究テーマの具現化と指導の充実			
取組とその成果		課題と改善策	
<ul style="list-style-type: none"> ・研究推進委員会を中心に、共通理解や方策を検討し発表する事で、教員全員で同じ方向に進めることができてきた。 ・自ら学ぶ意欲を持たせ、みんなで学び合い高め合う事ができるよう、分かりやすい授業や指導法の工夫をテーマに授業実践し、校内で公開授業を行い意識を高めるようにしている。 ・学力調査やアンケートの分析から課題を見つけるようになった。 		<ul style="list-style-type: none"> ・研究推進委員会での共通理解後、学年会でも話題に出して進めていく。 ・公開授業研究協議を充実させ、研究テーマを意識していく。 ・学力調査のアンケートや学校評価アンケートから検討を進める。 	

		評価 (教職員)	評価 (校園長)
取組とその成果		課題と改善策	

学校関係者評価

評価の基準

4:よく取り組んでおり、成果が大きい
2:取り組んでいるが成果が十分でない

3:熱心に取り組んでおり、今後が期待できる
1:取組が不十分である

学校関係者意見等	評価
<p>1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力を身につけさせる</p> <p>学習習慣を定着させるための取り組みがなされ(週末課題等)学力の向上が大いにみられる。特に3年生については、放課後自主学習を実施するなど乃取り組みが顕著に表れている。下級生もテスト前補習や家庭学習ノート、平常での小テストを実施して頑張らせている。今後の成長に期待。資料から学力の上昇がはっきり見て取れる。</p>	3.7
<p>2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る</p> <p>様々な行事を通じて心を成長させる取り組みを実施されている。平常での道徳授業もしっかり取り組まれている。公開授業での取り組みは良かった。保護者の参加が少ないのが欠点でもあるので、保護者への啓発をもっとしていくといいのだが、なかなか難しい面がある。</p>	3.7
<p>3 食育や体育を充実させ、健康な体づくりに取り組む</p> <p>食育指導家庭科での実施は継続してほしい。中学校弁当の利用も市内の利用に比べて多いのも広報のたまもの。家庭でしっかりできるといいのだが…。部活動や保健体育の授業でしっかり活動させているのを今後も続けてほしい。</p>	3.7
<p>4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る</p> <p>校内の安全確保や、点検はしっかり行われているが、校舎が風位現状市教委の協力がもっと必要である。体育館が台風で被害が大変大きかった。今まだ工事継続中であるが、速く対応できればいいのだが…。防災訓練については神崎保育所が中学校を利用しているが、地域やPTAとも連携できればもっといいのだが…。</p>	3
<p>5 家庭・地域・学校の連携を深め、信頼され、活力に満ちた学校園づくりに取り組む</p> <p>ホームページや連絡メールでの情報発信はしっかりできているので、今後も続けてほしい。ホームページをみることで学校の様子が大変良くわかる。地域行事への子どもや教員の参加もしっかりできているのがいい。神崎のセンターとの協力体制が大変良く取れていると思う。</p>	3.7
<p>教育目標 「一人ひとりを大切に、生き抜く力を育む」</p> <p>絶えず呼びかけてほしい。</p>	3
<p>研究テーマ 「学び合い高め合う授業」を目指して</p> <p>研究授業も公開し、指導者の研修も進め学力向上に繋がってきていると思える。3年生の低学力者が減少しているのが典型である。1・2年生の低学力者を何とか向上させれる手を…。</p>	3.7
<p>小中・小小連携</p> <p>小中連携を中学校側が積極的に行い進めている。今後も進めて9年間での教育を目指してほしい。2つの小学校の差が大きくなるように思う。英語での連携だけでなくもっと連携を深めていく必要がある。できる、できないの差が顕著に表れているのは、中学校段階での挽回が大変難しいように思う。</p>	3.5
<p>評価項目 (A:優れている B:適切である C:おおむね適切である D:要改善)</p>	評価
アンケート等、自己評価の根拠となる資料は適切か	B
自己評価の結果の内容は適切か	B
自己評価の結果を踏まえた今後の改善策は適切か	B

集計表

1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力を身につけさせる	3.2
2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る	3.5
3 食育や体育を充実させ、健康な体づくりに取り組む	3.5
4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る	3.3
5 家庭・地域・学校の連携を深め、信頼され、活力に満ちた学校園づくりに取り組む	3.5
教育目標	3.3
研究テーマ	3.1

1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力を身につけさせる	3
2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る	3.5
3 食育や体育を充実させ、健康な体づくりに取り組む	3.5
4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る	3
5 家庭・地域・学校の連携を深め、信頼され、活力に満ちた学校園づくりに取り組む	3.5
教育目標	3
研究テーマ	3

1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力を身につけさせる	3.7
2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る	3.7
3 食育や体育を充実させ、健康な体づくりに取り組む	3.7
4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る	3
5 家庭・地域・学校の連携を深め、信頼され、活力に満ちた学校園づくりに取り組む	3.7
教育目標	3
研究テーマ	3.7

アンケート等、自己評価の根拠となる資料は適切か	B
自己評価の結果の内容は適切か	B
自己評価の結果を踏まえた今後の改善策は適切か	B